藤川記　一条禅閤作

全

伊地知文庫
文庫20
416

此書の著者一条摂政兼良公は関白従二位太政大臣にして家歴を受けて和漢博覧の聞えあり殊に日本紀纂疏九巻を撰し釈日本紀の人なり世に称せられたるものなり此書こゝに釈日本紀の古今和歌集新式今案追加宣命使部尽抄の見抄を連歌俳諸の人なり世に称せられたる俳諸の祖なり

林良材花の名所時鳥の名所

白家物語

雪中の春

自頁も喜の環自ら鶯小弟は春風相伴はることゝ

職せしめて己れを代れるより世こゝに俳諸せ

蕉やうれしう

端午の角の

ひわとひたりわそ

のうまつりて

られ恋にのりの世

のたとえわ

ひとうまつりの

伊地知氏書冊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はるばるとわたせいさ月はらへたる
ものまつりの宮者ども
泉川を舟にてくだりて
渡し舟揮さて道より川
ゆきわ蔵のこうもりもう
をしわして新関(にせ)をもとめられぬと
ようやく出ぬる後よりとして蔵行の漳
ゆきのよりの傾きのくるを
こうらうて事少なく通さ行れを四ゆきき
事のをとりわ
さうこ和らきこ世のひとすうこ
をうゆらけの宮なるこ先世
浮世風呂わうこ人こうのちゆ世て日を
彫業わうようわ西をはわて苦流をけ
わうく沈わうてやわ
わうわ名こ人

[illegible]
ゆきかれて而ちかわ[illegible]
わさしまての宿やわ[illegible]
三日わさ[illegible]
[illegible]
[illegible]

秋をこの年七の汴堤
に日数年を出て舟よのうちて
漣(さざ)なきの中月はうれ舟おさん
とひ風をうれ夜波の雲
うれなる水風をけ遠行白艇をみて
中堂四の浦より彩をとて
こうつくしく10のうれはすわうれ
ちよのわかるうのうちなり

山ひををうの時わうしはまをかと
恨よををとうてりしらむしれのはうり
三日星をうわうあこうををて
舟人の四つひいををてうわ
まうとうをとうをとうかをて
彩うれ日時ようう場をうの星に舟中を
てをををを俳ををかれうれ彩をれ
四てをのうのうにわうを書につをわ

ほのぼのとあけぬれば
きぬぎぬをこそ
酉の刻
醒井
○ちる流るゝ
とゝ
つる流れの
ほとゝぎす
夏の日
わらや
岩○
あらわれ
叩
吹風や
美ひろう
はけて
ゝて
みなと

ゆくりのうせにけるとかうる
いまはたけとうの高く夢ぬけさうひめて
四郎とてくわ一文買よわるれば百文
すさうる事なとうるなり
岩ぬるゆやいるぬ沢乃ひけ時ん
りちのあるとかふれわるるる
鷲ノ滝とうるをとを通りて
及きて帰れをきるねうちひうる法

流のみるとやうるれわるん
薮川乃橋乃形の流うるをとて
うるれうや業年波をうる橋はら
かうるとうるあるる薮川乃
形人言同流のたう沢して
うるうれうるうる買の薮川
うるうる風てとうるありを
うる流ハきしの岩のよりれる毎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四月の八日の夕方
[illegible]
[illegible]
[illegible]

白雲のかゝるあなたの物さびしく
さゝ波しらぬ川風のうらさびて
ひとのとゝかぬ沙の中に
ゆくゝ杜鵑の珠簾十重揚州路といふ所を
なりしひとうらうへ行く
わさとうかれけるにもてうぜ
うち千の水よ和とあまうん
又新よわやうをゆくりて事なき詩うり
なまて

我やとのつゆにぬれぬあるを
きゝしひわ行くよりしぶの花
古日のうゑ行くよ雲井をとゝ
おのゝくをこゝろ行くとゝ
昔ゆめ物をしうたれたるとゝ
ゆゝ沒方九年ゆれいろ花
ゆゝ行方九交のゆゝ
古塚をこゝろて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中よりの使者にて
ちかひをかへられ後国をわかち
津ちの三味をたしてくわかれ
のちをもとめ此度龍門を求しと
注進ありの二十五日
利国を津和乃殿にそむの
勝よりくれはしてつくしたて
郡奥とも水ちの事とわかる刻

うち立合さ用意をしてさるの刻
年の名をもてさるとみくるの時
伊賀乃国を津すす幕伊法師さるの
大政義のる源成敗の日男生年九歳
四郎乃神をひろ生まるる天竺
をひろ晴を保乃氏を陰山法の
伊賀の武勇より関白の世男
九歳にて納藤利と京一事之

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二日 [illegible] 一偈

[illegible]

十三日正法寺にて經興の仔左詩の頌を乾
尾硯に此頌、東坡の詩集よりとりかゝる
頌乃ち也 作仏文の事ゆへ
[illegible] 頌者 [illegible]
[illegible]
[illegible] 文の第二様の
[illegible] 卿と [illegible] 事有さ進述

一偈曰

驚峯正法適慶之　靈薬毒人迷法人
五祖山中誰仏主　栽杉道者是京少
十字路頭誰問路　一句分明問祖師
名香舊跡今歴覧　千年万年
細川右京亮勝元卿　辛酉の年東軍
九郎義政の方へ参られ　此きつねの国境又
蜂起する事りやうわん　迷法の孫
成てきらうしわるに　後今朝迷
と云ふ　道路程遠　ふつてはれて清水の流れ
ちと出て帰馬　ひらうんとすわし
大かたとする事
吉日行円清正乃あくだの方を一人ちつさ
ちと出て　ひたすら無事をいのり
二里計行つ　ひれきの月橋ちの山の麓
ちとうろ　此山の奥分ちわ今の法華
国情の社乃源　ちみわちう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]川のほとりの園
[illegible]に備前新[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八月五の日をもてとしるしあらん
初夏のころのいとうれん
ちりのわかれをなげきかなしきに
あやめのくさをまつりやわらん
東流のうら波たちをりをとる
たちしなるひまもあらの市人
時をたがへぬのきつかの日をたに
わらひもつるる波のしらた

ワ元ほとゝぎすなるる流乃水
花とやるふかみなるもかるる
ひちりの月と織りなるいし寄波
いろのさつのそもまるまに
実ちをせりさらわけばもりの見
ほうれよひとちしるをふ
あしきのちりさかりをもるる
ちよりの雲よりゆるとゆ

世の人のわすれをしたるのみにあらず
ものゝ心をけうとくなりぬ
近江国番馬といふのわたりとつゝきたる
番馬を物みよとこゝろ
ワつるなのきこえさるなれば
日しけの物よりしられ
ものゝ塚下(ヨホテ)をものゝ
筑紫にてをとまること

こゝろ驚しに神田の名乃一ちきこゆる
ゆゑ又化の方わたをひくらしたるの一日
わかをのゝ下にて侯ん わかの西の山所の深き
ひけるこゝろとうん

南行物思下波　　西望平湖遠不波
孤鴻流然行所似　　瑠璃万頃青環
ふゝ衣行ゐひめをもわくる法
ものけよきてもあるとも

西行法師に　ねがはくは花のしたにて春死
なんそのきさらぎの望の月のころ
かくよめる

願はくは花の陰にやどりつつ
なほのこりなくつきをみるかな

ものしりたりけるとこしらへ
しに　ものしりたりけるとこしらへ
遣はせたりけるに成あまりに小柴こりて木
はなくて一束ばかりに二束の分量
はなくて一束ばかりを出けり

花ゆゑのとぐちのかりねも
ふしわびぬるあけぬるかなと

五二日小柴をこりてまかりとすぐる社を
ゆきすぎて沐浴のあとをとどめ
ぬるかなとよめりけん

ほとゝぎすを物のあはれ
ゆかんかたをとこの事を
しらでなほ我を教へよ

観音寺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

南来北望漢天　一夜白髮兩眼
白髮更添新白髮　青蓮不老四青蓮
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月日馬場[illegible]

憶得三生石上[illegible]　一庵風雨[illegible]眠

今朝更下山毒[illegible]　九樹雲深[illegible]杜鵑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

菩提樹下石精舎　殿閣微塵自南

新備後座道九拍　勅一時宗門年

法対のちかめ[illegible]の四[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

這一冊者後成忠[illegible]禪[illegible]之間[illegible]門記録ノ
物し

天文[illegible]十三暦[illegible]中[illegible]ハ　[illegible]前

[illegible]寅[illegible]月[illegible]日迄[illegible]海[illegible]者也